

カリッーCSRレポート

2021



1. トップメッセージ

すべてのステークホルダーの皆さまに 「安心」と「信頼」を提供し、社員が「誇り」と 「よろこび」を感じられる企業をめざします

すべてのステークホルダーの皆さまへ

私たち、カリツー株式会社（旧社名：刈谷通運株式会社）は、1951 年（昭和 26 年）2 月の創業以来、半世紀以上にわたり、地域の皆さまとともに歩み、おかげさまで 2021 年（令和 3 年）には、創業 70 年を迎えることができました。

私たちは、企業理念に「我々は社業を通し、良き企業市民としての良識をもって地域社会に貢献する」を心がけ、C S R 経営を推進して参りました。

私たちの生活は新型コロナウイルスの影響を受け、急激に変化が進んでいます。

先行きが見えない時代ですが、物流の新たな価値の追求に挑戦し、更なる「安心」と「信頼」をご提供できる元気な会社を目指し、活動してまいります。

この度、当社の C S R に関わる取組みについて、2020 年度の活動を中心にまとめましたので、C S R レポートとしてご報告させていただきます。

当社は今後も事業活動を通じた C S R 活動に取組み、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるよう努力して参りますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2021 年 5 月
カリツー株式会社
取締役社長 加藤 正則

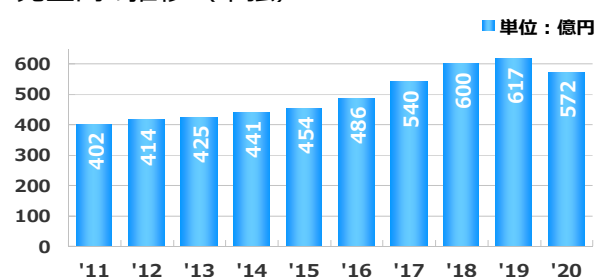
2. 事業概要 (※1)

(1) 会社概要

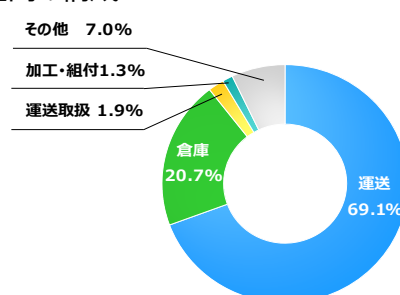
■ 社名	カリツ株式会社			
■ 本社所在地	〒446-8540 愛知県安城市三河安城町 1-4-4 TEL:0566-73-5600 FAX:0566-73-5606			
■ 創業	1951 年 2 月 28 日			
■ 資本金	75,000 千円			
■ 社員数	2,734 名			
■ 車両保有台数	1,837 台	<内訳>	■ 大型 (5t 車以上) : 795 台 ■ 小型 (5t 車未満) : 222 台 ■ フォークリフト : 820 台	
■ 営業種目	■ 貨物自動車運送事業 ■ 倉庫業 ■ 加工組付け業 ■ 作業請負事業 ■ 旅行業 ■ 通関業	■ 利用運送事業<JR 貨物> ■ 荷造包装業 ■ 自家用自動車管理業 ■ 特定信書便事業 ■ 太陽光発電売電事業 ■ 産業廃棄物収集運搬業	■ 運送取次事業 ■ 代行納入業 ■ 不動産管理業 ■ 貨物軽自動車運送事業 ■ カリツ-安全教育研修センター	
■ グループ会社	■ 光徳商事株式会社 ■ 大和高速運輸株式会社 ■ 光徳運輸株式会社	■ 千幸開発株式会社 ■ 刈通オートテクノ株式会社 ■ 日豊高速運輸株式会社	■ カリツ-東日本株式会社 ■ カリツ-北海道株式会社 ■ カリツ-九州株式会社	

(2) 企業データ

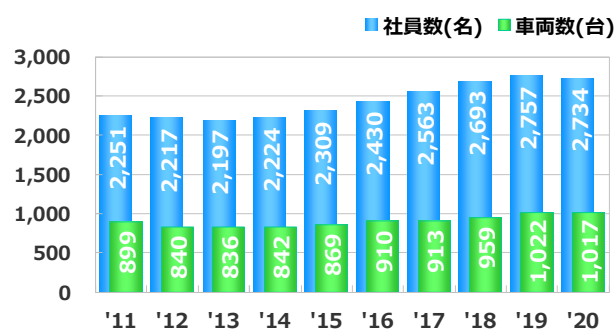
■ 売上高の推移 (単独)



■ 売上高の構成



■ 社員数・車両数の推移



■ 倉庫面積

地域	倉庫面積 (単位㎡)
愛知県内小計	344,615
北海道圏小計	4,755
関東圏小計	13,827
関西圏小計	4,295
中国・九州圏小計	7,893
全社合計	375,385

※1 2021 年 3 月末時点

カリツ-CSRレポート

カリツ株式会社に係わる全ての皆さまに、当社のCSR（企業の社会的責任）に対する姿勢と取組みについて理解を深めて頂くため、カリツ-CSRレポートを発行しております。

今年で9回目となります本レポートでは、2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の活動についてご報告させていただきます。

目次

1. トップメッセージ	2
2. 事業概要	2
3. CSRへの取組み	4
4. マネジメントシステム	5
5. 安全・品質に係わる活動	9
6. カーボンニュートラル社会に向けた取組み（環境活動）	17
7. ステークホルダーに係わる活動	23

2020年度主なトピックス

□創業70周年

2021年2月28日、当社は創業70周年を迎えました。

記念式典を開催し、カリツ全施設の空撮の写真パネルを製作して展示しました。

また、70周年を機に社章を新しく変更し、新制服への切り替えも予定しています。

周年行事は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、規模を縮小して開催しました。

創業当時の本社



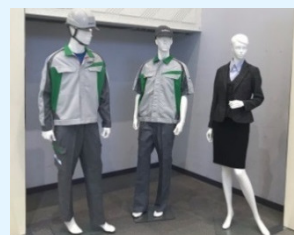
創業当時のトラック



創業70周年記念式典



新制服



西尾北物流センター



□物流施設の増築等

2020年4月、KARITSU TRANSPORT（THAILAND）CO.,LTD.を設立しました。

2020年7月、西尾北物流センターを新設しました。

2020年11月、岡崎物流センターを増設しました。

2021年1月、広島海田物流センターを移設しました。

2021年1月、新安全教育研修センターを設立しました。

2021年4月、安城南営業所A棟を新設しました。

3. CSRへの取り組み

安全・品質の向上

労働災害・交通事故・製品事故の防止のため、安全に関する計画を立て実施しています。
品質の向上のため、教育訓練の実施など、力量の向上に取り組んでいます。



○定期的な訓練の実施

実際の作業環境を模した訓練道場の活用など、定期的な訓練に取り組んでいます。

トラック・フォークリフト大会の開催や出場を通して、一人ひとりの力量UPに努めています。

○職場環境の整備

職場巡視などを通じて、職場環境の問題点を洗い出し、事故防止と働きやすい職場作りを推進しています。

環境への配慮

燃費向上の取り組み、環境にやさしい車両・設備の導入など、環境に配慮しています。



○燃費向上に向けた取り組み

ドライブマスターなどの機器の活用や、省エネ運転などの教育を通じて、燃費向上に取り組んでいます。

○環境にやさしい機器の活用

低公害車や太陽光発電設備など、環境にやさしい機器を活用しています。

社会との共生

企業理念のもと、地域社会と関わる様々な活動を通して、良き企業市民を目指しています。



○地域の交通安全への取り組み

拠点ごとの定期的な交通安全立ち番や、交通安全教室へのトラックの提供など、地域の交通安全活動に取り組んでいます。

○社会貢献活動

震災被災地域への支援や、NPOや芸術・スポーツ団体への協賛などを行っています。

4. マネジメントシステム

(1) 理念・方針

■ 企業理念

1. 我々は社業を通し、良き企業市民としての良識をもって地域社会に貢献する。
2. 我々は常に新しい価値の創造に努め最高の品質、最高のサービスをもって業界ナンバーワンを目指す。
3. 我々は「企業は人なり」の信念のもとに、人間性を尊重し常に研鑽に励み自由でかつ達な社風づくりに努める。

■ カリツグループビジョン「Vision2030」



■ 新中期計画

1. 安全・品質・環境対応の強化
新センターや支援機器の活用および教育・訓練強化による安全・品質向上
2. 組織の活性化
未来に向けた人材育成の強化
3. CASE 対応への基盤づくり
一般貨物事業、海外事業の積極的な拡大と早期自立

■ 2021 年度スローガン

真の競争力を身に付け 新たな価値を追求する元気な会社になろう

■安全・品質・環境方針

□基本方針

1. 我々は、安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し全ての業務の安全性向上に努め、無事故、無災害を達成する。
2. 我々は、常に新しい価値の創造に努め最高の品質、最高のサービスをもって業界ナンバーワンを目指す。
3. 我々は、物流を中心とした全ての企業活動において、環境負荷をできるかぎり低減することで社会に貢献する。

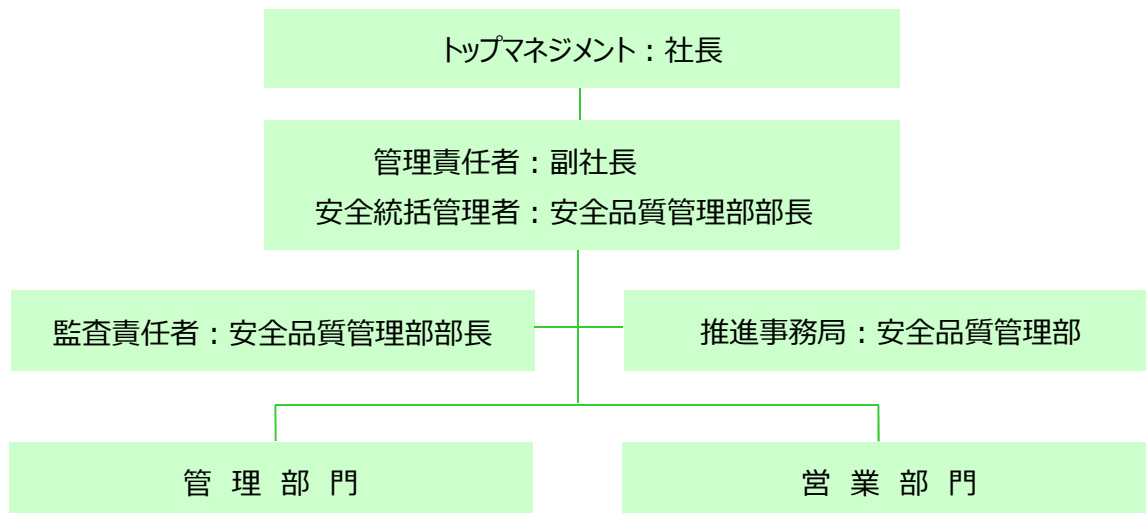
□行動指針

1. 安全の確保、顧客満足度の向上を図るため、また、地域及び地球の環境保全を推進するため、輸送事業、倉庫事業及びその他の関連事業において、次に掲げる事項を全社員が一丸となって取り組む。
 - (1) 労働災害の撲滅
 - (2) 交通事故の撲滅
 - (3) 製品事故等の撲滅
 - (4) 省エネルギー及び省資源の推進
 - (5) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - (6) グリーン調達の推進
2. 上記の項目を展開するため、安全・品質・環境目的及び目標を設定し積極的に推進するとともに、定期的に見直しを行う。
3. 事業活動及び環境に関する法令並びに当社が同意するその他の要求事項を順守する。
4. 安全・品質・環境に関する内部監査を行い、必要な是正処置・予防処置を講じる。
5. 安全の確保、顧客要求事項への適合及び環境問題を常に意識し汚染の予防及び安全・品質・環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
6. 安全・品質・環境に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うように努める。
7. 安全・品質・環境に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有する。
8. 安全・品質・環境に関する教育及び研修の具体的な計画を作成し、これを的確に実施する。
9. 業務委託先の安全・品質・環境の向上に協力するように努める。
10. この安全・品質・環境方針は、当社で働くすべての人に周知するとともに、一般に公表する。

■個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・預託について
当社は適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得致します。
当社は個人情報を取得の際に示した利用目的の適用範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて、利用します。
2. 個人情報の第三者提供について
当社は法令に定める場合を除き、個人情報を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供致しません。
3. 個人情報の安全管理について
当社は個人情報の的確性を保ち、これを安全に管理致します。
4. 個人情報に関する法令及び規範の順守
当社は、個人情報の取り扱いについて、個人情報保護法をはじめとして、関連する法令及びガイドラインを順守します。
5. 個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について
当社は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求があった場合にはこれに応じます。
6. 組織・体制
当社は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施します。
7. 個人情報保護コンプライアンスプログラムの策定・実施・維持・改善
当社は個人情報保護を適切に維持するため、個人情報保護に関するコンプライアンスプログラムを策定し、運用するとともに、これを継続的に改善します。

(2) 品質・環境・道路交通安全マネジメントシステム推進組織



(3) 外部認証

■ 外部認証機関による ISO 審査

年 1 回、外部認証機関による、品質・環境・道路交通安全に関する ISO 審査を受けています。
2020 年 9 月、5 日間にわたり審査を受け、ISO9001・14001・39001（※1）の登録継続が承認されました。検出課題に対しては、是正処置・水平展開を行い、マネジメントシステムの維持・改善を実施しています。
新型コロナウイルスの感染防止に配慮して、WEB 会議を活用しました。永年登録特別表彰状を頂きました。

WEB 会議を活用した ISO 審査



表彰状



ISO 登録証



■ ISO 認証登録状況

品質・環境・道路交通安全に関する ISO 認証を取得しています。

□ ISO9001・ISO14001

2000 年から品質マネジメントシステムの ISO9001、環境マネジメントシステムの ISO14001 の認証登録が承認され、随時対象拠点を拡大して参りました。

2020 年度末現在、本社及び 38 の拠点にて登録継続の承認を受けています。

□ ISO39001

2014 年から道路交通安全マネジメントシステムの ISO39001 の認証登録の承認を受けています。

2020 年度末現在、1 部署及び 3 事業所にて認証登録を受けています。

※1 道路交通事故による死亡者と重傷者の撲滅を目的に、業種・規模を問わず、道路交通に関連するあらゆる組織が取り組むべき要求事項を定めた道路交通安全マネジメントシステムの国際規格

■ 内部監査の実施

間接部門の内部監査



定期的に内部監査を実施し、マネジメントシステムの有効性を確認しています。

発見された問題に対しては是正処置を実施し、内部監査員が気づいた改善アイデアについても推奨事項として助言がなされ、マネジメントシステムのレベルアップにつなげています。

実施期間	内部監査員	被監査部署	指摘件数
2020 年 8～9 月	各営業部 部長・事務局	70 部署	50 件

■ 安全性優良事業所として認定（Gマーク）



安全性優良事業所とは、荷主企業がより安全性の高いトラック運送事業者を選びやすくするために、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（全日本トラック協会）が厳しい評価をし、認定した事業所です。

当社では、車両を保有している 18 事業所が認定を受けています。

（４）コンプライアンス

コンプライアンスは CSR 経営の基礎であるとの認識を持ち、磐石なものとするべく取り組んでいます。特に、貨物自動車運送事業者として、公道を使用させて頂いているという意識を持ち、関連法規の順守に努めています。

■ 法順守評価の実施

営業所の現地確認



毎年、関連法規の一覧をもとに、コンプライアンスの状況確認と是正を実施しています。

法順守評価を通して関連法規に関する情報を共有し、順法意識を高める教育の機会も兼ねています。

5. 安全・品質に係わる活動

■ 新安全教育研修センターの設立

新安全教育研修センター



2021 年 1 月、旧西尾営業所跡地に新安全教育研修センターを設立しました。

実際の道路環境を再現したトラック訓練場を設置し、フォークリフトの基本操作から、過去のトラブル対策のルール、禁止事項の徹底および多様化する業務に対応できる教育訓練を、実技・座学ともに導入しています。

協力会社を含めたオールカリユーでの安全品質向上を可能とする常に進化する教育研修センターを目指します。

座学



座学・実技訓練の強化

(1) 座学

- ①大型スクリーンを使用した教育
- ②新人教育で基本ルールを教育
- ③水平・隣接確認の重要性を重点に教育

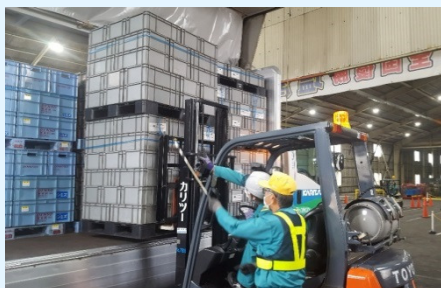
棚入れ訓練



(2) 荷主製品・環境特性に特化した訓練

- ①鉄パレット（油漏れ）の訓練
- ②長爪の訓練
- ③棚入れ訓練

実務に近い応用訓練



(3) フォークリフト基本・応用訓練

- ① 事故対策のトラップ訓練
- ② 隣接確認姿勢の教育（上下左右）
- ③ 隣接（奥）確認の教育
（見えない箇所の把握方法）
- ④ ローラー投入、降ろし教育

交差点死角訓練



(4) トラック実技訓練

- ① 交差点進入方法、危険箇所の把握、
徐行、最徐行、一旦停止の教育
- ② 死角の把握、死角を減らすための姿勢、行動教育
- ③ 障害壁を設置した交差点死角訓練
- ④ 接触ポールを設置したバック訓練、縦列駐車訓練
安全な後退方法と後方感覚を養う
- ⑤ オーバーハング振出・死角訓練、
パンチングポールで内輪差・死角を認識する訓練

バック訓練、縦列駐車訓練



(5) 全天候対応可能な倉庫

- ① 全天候対応可能な倉庫内に基本コースを
常設し職場環境を改善

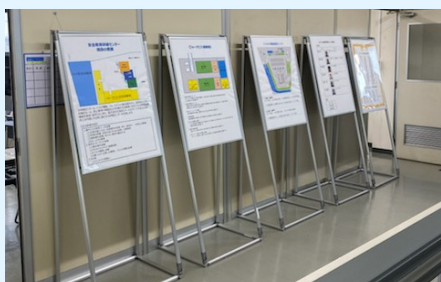
倉庫内基本コース



(6) 安全教育の見える化

- ① 研修生や外部の方が見られるように、
安全教育研修センターの概要と案内表示板、
訓練内容の表示板を設置
- ② 事務所前駐車場を利用し、車両点検を実施

教育カリキュラム等の表示板



①目標と結果

■ 運輸安全目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果	2021 年度目標
重大事故(※1)	0 件	0 件	0 件
輸送の安全に関する投資額	468 百万円	186 百万円	272 百万円

■ 交通事故抑止目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果	2021 年度目標
自責交通事故(※2)	3 件	10 件	3 件

■ 製品事故等抑止目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果	2021 年度目標
製品事故（荷主計上分）(※3)	49 件以下	63 件	50 件以下
製品事故（荷主非計上分）(※4)	8 件以下	7 件	-

■ 労働災害抑止目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果	2021 年度目標
重大労働災害(※5)	0 件	1 件	0 件
重大労働災害以外(※6)	3 件以下	8 件	3 件以下

※1 国土交通省自動車事故報告規則に定める事故 ①転覆・転落・火災・踏切・死傷 ②危険物の飛散漏洩 ③健康障がい ④車両故障等

※2 過失割合 30%超の交通事故

※3 荷主がカウントする事故

※4 荷主社内で事故扱いされない事故

※5 死亡災害・後遺障害・休業 6 ヶ月以上

※6 休業 4 日以上 6 ヶ月未満

②目標達成に向けた取り組み

■安全に関する計画

具体的な計画を立て実行し、継続的に取り組んでいます。

安全に関する計画		教育計画	
運行記録計（解析指導）	毎月	新入乗務員研修	都度
安全推進会議（各部署）	毎月	安全講習会	年 2 回
グループ会議	毎月	事故発生者研修	都度
職長会	毎月	管理監督者研修	年 1 回
事故研修会	発生翌月		
無事故無違反強調月間	年 4 回		
無事故表彰	年 4 回		
トラック運転技能大会	年 1 回		
フォークリフト運転技能大会	年 1 回		
全国交通安全運動参加	年 4 回		

■各種訓練

フォークリフト訓練



各事業所では、定期的にフォークリフト訓練を実施しています。訓練を行うことによって、品質の確保、力量の向上に努めています。

また、事業所内では、検品やピッキングの訓練のための道場を整備し、教育訓練に活用しています。

一人ひとりの意識・作業レベルの向上を図り、全体の品質レベルの改善につなげています。

■コメンタリー運転と指差呼称

指差呼称の実践



ヒューマンエラーによる事故や災害を防ぐため、コメンタリー運転（※1）と指差呼称（※2）を実践しています。

作業・行動の要所で指差呼称を行い、注意を喚起し意識レベルを高くします。

※1 時々刻々と移り変わる道路や交通の状況を、あたかも実況放送しているように声に出しながら車を進めてゆく運転方法

コメンタリー運転を実行することで、注意力の低下を防ぎ、危険に対する警戒心を高めることができる

※2 危険予知活動の一環として安全確認などの目的で指差を行い、その名称と状態を声に出して確認する

■ 無事故無違反強調月間

交通・製品事故ゼロを達成するため、無事故無違反強調月間を設けて、全社を挙げた意識付けに取り組んでいます。

年 4 回の期間中は、車両への車幕の取付け、事業所の出入り口への立て看板とのぼり旗の設置を行い、社員は「安全宣言」バッジや腕章を着用して現場パトロールを実施しました。

新型コロナウイルスの感染防止に配慮して、進発式では WEB 会議を活用し、点呼室には衝立を設置しました。



■ 短期・長期無事故表彰

毎年、無事故を達成したグループ・社員に対して、短期・長期の無事故表彰を行っています。

短期無事故表彰は、3 ヶ月間無事故・無災害を達成したグループに対し、長期無事故表彰は 3 年、10 年、20 年、30 年、38 年の間継続して無事故だった社員を表彰しています。

これにより、事故抑止目標の達成と社員の相互協力による安全意識の高揚を図っています。

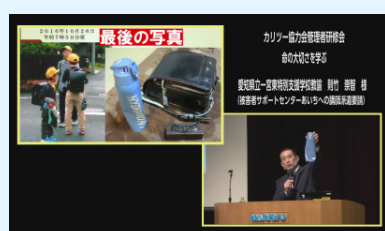
項目	2020 年度	累計
短期表彰回数	4 回	230 回
長期表彰回数	3 回	108 回

長期無事故表彰式



■ カリツー協力会管理者研修会への参加

カリツー協力会管理者研修会



2020 年 11 月 18 日、本社厚生棟にてカリツー協力会管理者研修会に参加しました。

当社社長の講演後、外部よりお招きした講師の方が「命の大切さを学ぶながらスマホの危険性」という内容について講演されました。

改めて事故の怖さについて認識し、事故防止への意識を高める機会となりました。

■ カリツーセーフティ・ラリーの開催

物流企業の社員として、社会の模範となる安全運転を実践することを目的に、2020年7月から12月までの間に、愛知県トラック協会主催の「トラック・セーフティ・ラリー（※1）」と連動させた「カリツーセーフティ・ラリー」を開催しました。

全社員が5名1組でチームを結成し、実施期間中の無事故・無違反の達成に向け取り組みました。今後も一人ひとりの取り組みに関する意識を高め、全チームの達成に努めます。

項目	2020 年度
全チーム数	717 チーム
達成チーム数	616 チーム
達成率	85.91%



■ 正しい運転・明るい輸送運動への参加

交通・労働災害事故の防止、年末年始の輸送繁忙期における安全・安心な輸送サービス提供などを目的として、2020年11月から2020年1月にかけて、全日本トラック協会と各県のトラック協会共催の「正しい運転・明るい輸送運動」に参加しました。

各事業所において、「荷役作業時の安全確保の徹底」、「高速道路における事故防止の徹底」、「輸送品質・サービスの向上」など、重点実施事項を定めて運動に取り組みました。

■ アルコール検知器によるアルコール検知の実施

物流企業の社員として、勤務の内外を問わず飲酒による事故や検挙者を絶対に発生させないように、乗務員のみならず全社員が出退勤時にアルコール検知を実施しています。

本社を含む全事業所にアルコール検知器を配備し、遠隔地で乗務を開始・終了する場合には、携帯型のアルコール検知器を使用して、確実に実施しているか記録しています。

アルコール検知器



記録管理画面



遠隔地用アルコール検知器



※1 一定期間内の無事故・無違反を競い合うことによって、ドライバー、社員の交通安全意識を高め、チーム、事業所、支部内での事故、違反数の減少を図るとともに、愛知県内の交通事故死者数減少を目指す

■ 電子点呼システムの活用

事務所の大型ディスプレイにて出勤・点呼状況確認



当社では、日々の点呼において、自社で構築した電子点呼システムを活用しています。

事故やトラブルの展開や再発防止に向けた注意事項を、パソコンを使用した点呼時に各乗務員に確認させるなど、運行における法順守の徹底と乗務員の注意意識向上に向けて取り組んでいます。

■ サイドバンパーの導入

事故防止のため、トラック全車両助手席側の1軸と2軸の間に、サイドバンパーを導入しました。

車体横に装置を取付けることにより、歩行者や自転車の進入を防止します。

当社と整備会社が共同で開発した特別仕様です。全ての対象車に取り付けを進めています。

サイドバンパーによる進入予防措置とともに、道路交通法の順守を徹底するよう、教育を行っています。

サイドバンパー



■ IT パトロールの導入

2021年2月より、IT パトロールを導入しました。

当社では、従来より全社にて、安全・品質の向上に向けた現場パトロールを実施しています。

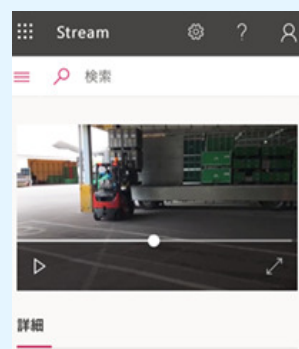
IT パトロールでは、担当者にスマートフォンを支給して、パトロール実績を自動集計し、共有できるようにしました。

ITを活用することで、パトロール業務の効率化とより一層の質の向上を図り、事故発生を抑止します。

チェックシートの電子化

2 リフト作業 水平確認			
前々回(良・否)	前回(良・否)	今回(良・否)	
コントラ	回数	回数	回数
①フォークを指す時、差込口手前で一旦停止したか			
—	良	良	
ベレット差込み口手前10cmで一旦停止			
—	良	良	
②フォークを指す時、「フォーク水平ヨシ」と指差呼称したか			
—	良	良	
③フォークが抜けきる手前で一旦停止したか			
—	良	良	

指導用の動画



導入効果と内容の一部

安全品質教育
指導の向上

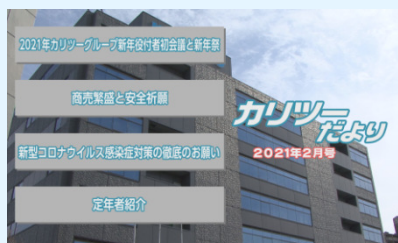
- ・動画、画像による教育指導
- ・指導方法の標準化

見える化
効率化

- ・チェック結果実績の一元管理を行い集計作業を自動化

■ 教育 DVD の展開

カリッーだより



社員への教育材料として、DVD「SD 情報（セーフティ・ドライブ安全運転）」と「カリッーだより」を自社内スタジオで編集、展開しています。2020 年度は「フォークリフト操作」、「事故原因と対策」等について展開しました。

SD 情報では、リフト作業やトラック運転時の重要ポイントを、視覚・聴覚を使って理解することができます。

カリッーだよりでは、会社行事やトピックスを音声合成ソフトのナレーションを使用して、タイムリーにビデオ化し配信しています。

■ 運転マナー等に関するご意見

当社の事業は公道を使用させて頂いて成り立っており、運転マナー等に関するご意見を頂戴することがあります。こうした一般の皆さまからのご意見を、我々の取組み姿勢のバロメーター（指標）として真摯に受け止めています。必要と判断した場合は、内容から対象者を特定し、事実確認後、個別指導を実施しています。また、発生状況を月ごとにまとめ、全社での周知を図っています。

■ 労働災害

社員が安全に働ける職場環境の整備へ向け、各事業所に安全衛生委員会を設置し、定期的に職場を巡視しています。委員会では、各職場での安全衛生に対する意見を取り上げ、労働災害防止対策の改善を行っています。また、災害発生時には、臨時委員会を開催し、対策改善提案・対策のフォローを行っています。

安全ベスト・バッチ・帽子



□ 安全衛生推進委員の装着品の変更

遠くからでもひと目で推進委員を識別できるように、安全ベスト・バッチ・帽子の色をオレンジ系に統一しました。推進委員の自己意識向上と、全社員への啓発活動の効果が高まりました。

安全掲示板



□ 安全掲示板の設置

事故防止のため、拠点に安全掲示板を設置し、無災害継続日数を「見える化」して、社員への事故防止に対する意識付けを行っています。

□ 労働災害の分析・水平展開

労働災害防止のため、発生した労働災害については、要因分析と発生原因の特定を行い、再発防止対策、是正処置を実施しています。

また、一連の労働災害情報をデータベースとして蓄積するとともに、水平展開をするなど社内でも共有しています。

6. カーボンニュートラル社会に向けた取組み（環境活動）

（1）燃費向上に向けた取組み

①目標と結果

■ 燃費向上目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果目標比	2021 年度目標
全社・全車格平均燃費	0.3%向上	99.54%	0.2%向上

②目標達成に向けた取組み

■ 省エネ運転の実践

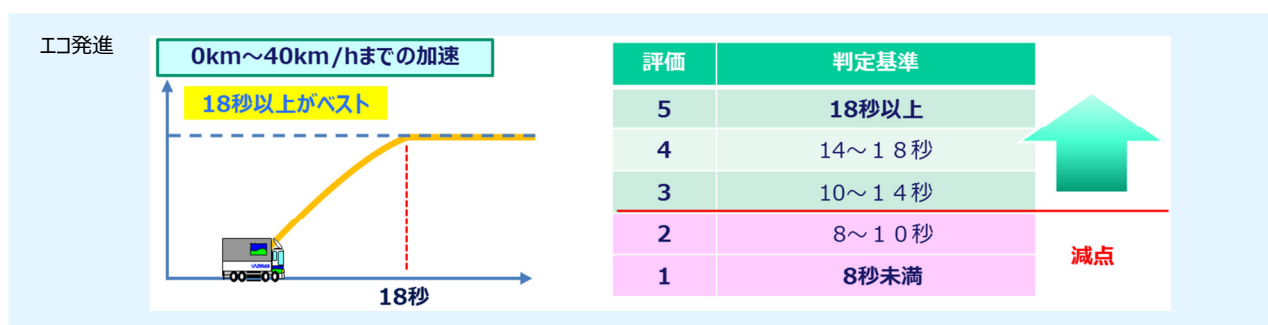
省エネ運転は、燃料の節約やCO₂の排出抑制につながるだけでなく、穏やかな運転をすることになり、安全性の向上にもつながります。

■ 各部署の燃費管理責任者による活動

各部署の燃費活動の中心として、燃費管理責任者（全 26 名）を選び、自部署の燃費管理、乗務員への教育・指導を行い、目標達成に向け取り組んでいます。

■ エコ発進・エコ減速の管理（※1）

デジタルタコグラフの運行データから、トラックの発進状況を 100 点満点で評価するエコ発進の点数を活用し、定期的に点数を確認、省エネ運転の管理・指導項目としています。車両の加速度から診断し、緩やかな加速が高評価となります。点数が低い乗務員を対象に、エコ発進教育を実施しています。



■ 高速型ディファレンシャルギアの装着（※2）

長距離用トラックの一部車型に高速型ディファレンシャルギアの装着を進めています。
燃料消費量を抑えることで燃費向上を図っています。

※1 エコ発進は 18 秒以上掛けて 40km/h へ加速、エコ減速は 40 km から 18 秒かけて停止する事

※2 高速走行時のエンジン回転数を下げて走行できる機器

(2) 輸送業務によるエネルギー使用量とCO₂排出量

■エネルギー使用量 (kl)

エネルギー源	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
軽油	11,779	12,826	13,047	13,159	12,503
ガソリン	23	28	24	28	28

■CO₂排出量 (t-CO₂)

エネルギー源	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
軽油	30,448	33,155	33,726	34,016	32,319
ガソリン	53	65	56	65	65
合計	30,501	33,220	33,782	34,081	32,384

(3) エネルギー使用量・CO₂排出量削減に向けた取り組み

■低公害車の導入 (※1)

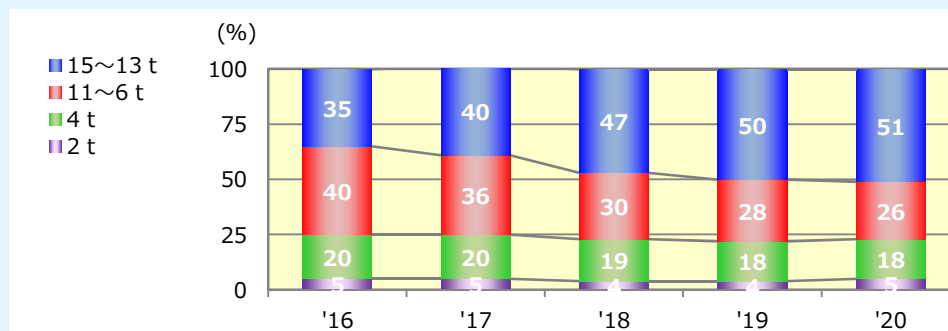
環境負荷の低減を目的に、低公害車の導入を積極的に進め、保有率の向上に取り組んでいます。

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
低公害車の台数	982台	991台	1,041台	1,104台	1,096台
低公害車以外の台数	30台	30台	30台	29台	30台
低公害車の保有率	97.0%	97.1%	97.2%	97.4%	97.3%

■輸送能力の高い車両の使用 (効率輸送)

輸送能力の高い大型車両を積極的に導入し、混載輸送を促進することで、輸送回数の削減と輸送効率の向上に努めています。

大型車保有率の推移



※1 大気汚染物質（窒素酸化物や一酸化炭素、二酸化炭素など）の排出が少なく、環境への負荷が少ない自動車
愛知県の「県民の生活環境の保全等に関する条例」に定める低公害車の定義を採用

□ 21m フルトレーラーの導入

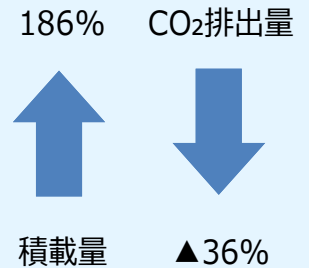
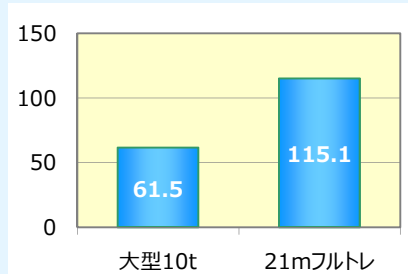
当社では、21m フルトレーラーを導入しました。

大型トラック 2 台分の荷量を積載可能なため、輸送回数の削減に繋がり、ドライバー不足への対応や CO₂ 排出量削減効果が期待できます。今後もフルトレーラーを活用した輸送を拡大していきます。

21m フルトレーラー



大型トラックとの荷台容積比較



■ 太陽光発電

当社では、事業所の屋上等に太陽光発電パネルを設置し、発電をしています。

現在、15 拠点に設置し、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献しています。

田原物流センター太陽光発電パネル



福岡県太陽光発電パネル



■ グリーン購入・調達

環境への負荷をできるだけ少なくするために、グリーン購入（環境に配慮した製品の選択）を推進しています。「グリーン購入管理指示書」を制定し、物品調達にあたっては、その必要性をよく考えた上で、価格・機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入するよう努めています。

□ 省エネ型照明への転換を推進

倉庫内や駐車場などの光源を、従来型照明からLEDに取り替えるなど、高い省エネ効果が見込まれる機器への転換を積極的に進めています。

□ 低燃費タイヤ（エコタイヤ）

スタッドレスエコタイヤ



タイヤの転がり抵抗を低減する、エコタイヤを全車両に標準装備として導入しています。

また、新たな取組みとして、スタッドレスタイヤのエコタイヤについても、試験的に導入をしています。

冬場の低燃費と、更なる CO₂排出量の削減を見込んでいます。

□ 再生タイヤ（リトレッドタイヤ）

環境負荷低減のため、走行により摩耗したトレッドゴムを新しく貼り替えて再利用する再生タイヤの導入・装着を行っています。使用後のタイヤを再利用することで、省資源と廃棄物削減に貢献し、製造過程・廃棄段階で CO₂ 削減効果が期待できます。

□ リフトバッテリーの再利用

リフトバッテリー

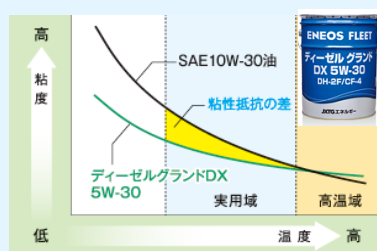


当社では、不具合バッテリーのセルの入れ替えを実施し再利用しています。

再利用することにより、コストと CO₂排出量削減効果に繋がっています。

□ 省エネディーゼルエンジンオイルの活用

省エネディーゼルエンジンオイル



2019 年 4 月より、省エネディーゼルエンジンオイルを活用しています。燃費向上効果が高く、オイル寿命が長いので、コストと CO₂排出量削減効果に繋がっています。

□ 燃料電池フォークリフト（FCV）の導入検討

燃料電池フォークリフト



燃料電池フォークリフト（FCV）の導入を検討しています。

CO₂排出ゼロのクリーンエネルギーにより、稼働時の CO₂排出削減効果が期待できます。

□クールハイブリッドトラック（15 t）の導入

電動駆動式の冷凍機を搭載したクールハイブリッドトラック（15 t）を導入します。

燃費性能の向上により、大型トラックの課題である CO₂排出量低減効果が期待されています。

また、ハイブリッドトラック（15 t）の導入も検討しています。

クールハイブリッドトラック（15 t）



ハイブリッドトラック（15 t）



（４）その他の環境保全活動

■ 油脂漏れ緊急対応訓練

車両等からの油脂（燃料・オイル等）漏れを未然に防ぐため、日常点検にて確認を徹底しています。

万一発生した場合に、適切かつ迅速に対応できるよう、あらかじめ手順を決め、毎年油脂漏れ緊急対応訓練を実施しています。

全車両に、油脂漏れ対応のための備品を常備しています。

ウエスを使用して油脂を拭き取る



おがくず等を撒き油脂を吸わせる



砂を使用しデッキブラシで清掃する



■ 廃棄物に係わる取組み

日々の事業活動で排出される廃棄物の処理については、分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルを進め、排出量の削減に取り組んでいます。

□「リサイクル部品」の活用

廃車から再利用可能な燃料タンク・デフレクター・リフト回転灯・前進チャイムなどを回収し、「リサイクル部品」として社内で活用しています。

□再資源化の推進

廃棄物として処理を委託していた廃プラスチック類（荷受品の固縛のために使用したラップ等）や、廃油・ダンボール・古紙などの分別活動により、リサイクルを推進しています。

(5) 環境会計 (※1)

当社は、環境会計を導入し、環境保全コスト（投資・費用）を管理することで、効果的な環境配慮の取り組みを推進しています。(※2)

■ 環境保全コスト (※3)

		(千円)		
コストの分類		主な取組みの内容	投資額(※4)	費用額(※5)
事業 エリア内	公害防止	低公害車（トラック）、 浄化槽の維持管理費等	1,037,491	1327,591
	地球環境保全	バッテリーリフト、 エコタイヤ等	205,499	386,454
	資源循環	廃棄物処理費用、 高性能オイル等	—	58,459
上・下流		排水補償金等	—	152
管理活動		ISO 審査、CSR レポート 発行等	—	45,751
研究開発		物流改善スタッフ費用等	—	91,429
社会活動		業界団体会費、募金等	—	4,746
環境損傷対応		土壌汚染の修復費用等	—	—
合計			1,242,990	1,914,585

■ 環境保全効果

環境パフォーマンス指標（単位）	2019 年度
産業廃棄物排出量（t）	2,156
電気使用量（千 kWh）	15,806
LPG 使用量（t）	457
NOx 排出量（t）	32
PM 排出量（t）	0.8
水使用量（m ³ ）	47,128

※1 事業活動における環境保全コストとその効果を明確にし、可能な限り定量的に測定・伝達するしくみ

※2 データは 2019 年度現在。2020 年度は集計中

※3 環境負荷の発生の防止、抑制または回避、影響の除去、発生した被害のまたはこれらに資する取組みのための投資額及び費用額

※4 対象期間における環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの（減価償却資産の当期取得額）

※5 環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

7. ステークホルダーに係わる活動

(1) お客様との係わり

■ 一般貨物輸送事業の拡大

当社は自動車部品物流が中心ですが、新たに下記のような事業も始めています。

2020年7月、一般貨物業務取扱い拡大に向け、新組織カスタマーロジセンター70（ナナマル）を発足しました。カスタマーロジセンター70では、自動車部品以外の食品、家具家電など、様々な一般貨物を幅広く取り扱っていきます。新たな事業拡大に繋げる取組みとして、今後も一般貨物事業に積極的にチャレンジしていきます。

□ 家具・家電等の輸送

引越業務で培った技術を活用し、家具・家電等の輸送を開始しました。

また、スポット輸送として、農薬や建築資材等の輸送も行っています。

□ 食品の輸送

2020年12月からパン・おにぎり・弁当等の、食品関係の定期配送を開始しました。

また、食品輸送のため、当社初となる冷蔵車を導入しました。

ペットフードの輸送



飲料の輸送



冷蔵車



■ 海外事業の拡大

保税蔵置場



□ 保税蔵置場の許可

2020年4月に保税蔵置場の許可を取得しました。

電子デバイスセンターB棟の一画において、外国貨物と呼ばれる輸入許可前の貨物や、輸出許可を受けた貨物の保管が可能となりました。輸出入に係る法令に則り、顧客からお預かりした輸出入する貨物を、適切に保管・管理します。

カリツートランスポートタイランド設立



□ カリツートランスポートタイランドを設立

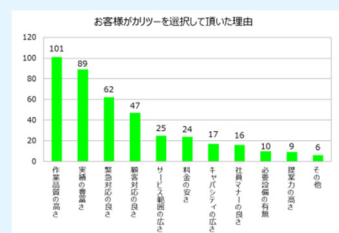
2020年4月1日、2つ目の海外拠点として、KARITSU TRANSPORT (THAILAND) CO.,LTD.を設立しました。

2021年1月より、タイ国内の輸送業を開始しています。

カリツロジスティクスタイランドと同じ敷地にあるため、倉庫と輸送の複合サービスを提供することができます。

■ C Sアンケート（お客様満足度）調査結果について

C Sアンケート結果の一部



お客様にはご負担をおかけしますが、2年に1回C Sアンケートにて当社の評価をお願いしています。

C Sアンケートの結果は、関係部署で共有するとともに、抽出した重点課題に対する活動を行っています。

（2）社会との係わり

■ 災害時における対応

□ 物資集積拠点に関する協定書を締結

2017年11月、西尾市と災害時における物資集積拠点に関する協定書を締結しました。

この協定は、西尾市内において地震その他の災害により被害が発生する場合に、当社の一部の施設を物資集積拠点として使用するものです。

□ 緊急時における軽油供給対応

全日本トラック協会に対して、震災等の災害発生時、優先的な軽油供給の要請があった場合、速やかに対応することを誓約しています（対象は一部の施設）。

■ 地域未来牽引企業（※1）

当社は経済産業省より、地域牽引企業の担い手、及び担い手の候補となる地域の中核企業として、地域未来牽引企業に選定されました。これからも事業を通じて、地域経済の発展に貢献していきます。

■ 交通安全立ち番

交通安全立ち番



各事業所では、交通安全活動の推進に向け独自に、または地域や同業他社と連携して、定期的に交通安全の立ち番や交通安全パトロールを行っています。

※1 地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開すること、または、今後取組むことが期待される企業

■ 環境美化活動

地域の環境美化のため、地域・お客様主催の清掃活動へ参加しています。
各事業所周辺での定期的な清掃活動を行っています。

■ 職場体験の受入

職場体験



毎年、電子デバイスセンターなど一部の事業所において、高校生・大学生を対象とした「職場体験」に協力しています。

倉庫内の在庫管理・入庫作業や検品作業などを体験して、物流業への理解を深めて頂きました。

職場体験の際は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮して、ソーシャルディスタンスの実施、マスクの着用やアルコール消毒などの対策を徹底しました。

■ 支援活動・寄託

小学校へベルマーク寄付



□ ベルマーク寄付

2013 年より、女性活躍推進チームの活動の一環として、ベルマークの寄付を行っています。

これまで愛知県の他に、事業所を置く広島県東広島市と大阪府摂津市の小学校等へ 110,000 点を寄付しました。

■ 協賛・賛助会員

当社は社会貢献などの事業に賛同し、協賛を行っています。下記はその一例です。

分野	団体名等
教育支援	朝日小学生新聞（朝日写真ニュース社）
社会福祉	特定非営利活動法人安城まちの学校
	更生保護法人愛知県更生保護協会
	特定非営利活動法人アジア車いす交流センター
	公益社団法人被害者サポートセンターあいち
国際交流	オイスカ刈谷推進協議会
芸術	名古屋フィルハーモニー交響楽団、安城市交響楽団
スポーツ	三河ベイフットボールクラブ株式会社
伝統文化	安城七夕まつり協賛会

■ 社外からの表彰等

2020 年度における、社外からの表彰実績等の一部は下記の通りです。

授賞機関名	表彰名	受賞者数
愛知県高速道路交通安全協議会長	優良運転者表彰	1 名
公益社団法人全日本トラック協会	優秀運転者顕章 金十字章	9 名
	優秀運転者顕章 銀十字章	6 名
一般社団法人愛知県トラック協会 刈谷部会	優良運転者表彰 5 年	1 名
	優良運転者表彰 10 年	2 名
	優良運転者表彰 20 年	1 名
一般社団法人愛知県トラック協会 安城部会	優良運行管理者	1 名
	優良運転者表彰 無事故無違反 10 年	1 名
	優良運転者表彰 無事故無違反 15 年	2 名
	優良運転者表彰 無事故無違反 20 年	1 名
中部交通共済協同組合	優良運転者表彰	1 名
合計		26 名

(3) 事業継続計画（BCP）等に関する取組み（※1）

事業継続を困難とする地震・台風・水害・感染症等に備え、人命・健康を最優先とした B C P の策定に取り組んでいます。

防災対応力の向上を目的として、防災訓練や大規模地震対応ガイドの展開等、様々な取組みを進めています。

■ 事前対策

□ 防災マニュアルの制定

南海トラフ巨大地震を想定した、大規模地震対応ガイドを制定しています。

□ 防災対策用品の整備

災害発生時に備え、各事業所に防災対策用品を確保しています。

定期的に点検を行い、非常時に使用できるよう維持管理をしています。

落下防止ストッパー



□ 倉庫の震災対策

倉庫の震災対策として、製品の転倒・落下防止対策を進めて、安全面の向上に努めています。

具体的な取組みとして、スライド扉・側面ネットの設置、ストッパーや連結パイプの取付け等を実施しています。

※1 企業が自然災害・大火災・テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法・手段などを取り決めておく計画

□ 情報システムの対策状況

事業活動の継続に情報システムの維持は欠かせません。

当社では、自家発電機、無停電・定電圧装置、本社サーバーを免震プレート上に設置、データセンターを活用したデータバックアップ対策を実施し、震災等に備えています。

今後も最新 I T を研究し、オールカリツで、より一層の BCP 対策のレベルアップを進めて行きます。

非常用電源装置



□ バッテリーフォークリフト非常用電源装置の導入

複数の事業所に、バッテリー式フォークリフトを使用した非常用電源装置を導入しています。

停電発生時にフォークリフトと機器を接続し、非常用電源として活用できます。

■ 防災訓練

□ 全社一斉防災訓練

当社では、災害対策組織を編成し毎年定期的に訓練を行うことで、万一の災害に備えています。

2020 年 9 月 11 日、カリツ全社で、地震の発生を想定した一斉防災訓練を実施しました。

訓練では、新型コロナウイルスの感染防止に配慮して、緊急地震速報装置のテスト放送訓練、ディーゼル発電機や衛星電話、IP トランシーバーを使用した災害状況報告訓練、コロナ発症対応 PCR 検査受診報告訓練等が行なわれました。定期的に防災訓練を行なうことで、より良い防災体制を築いていきます。

災害対策本部訓練



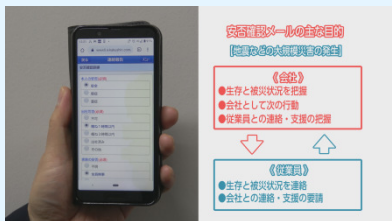
ディーゼル発電機訓練



IP トランシーバー訓練



安否確認システム

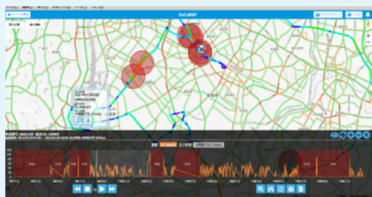


□ 安否確認システムと安否確認訓練の実施

企業の危機管理の一環として、災害時における社員と家族の安否を確認するために「セコム安否確認システム」を運用しています。

災害時、全社員の安否確認を確実にするため、各四半期末に繰り返し訓練を実施しています。

車両動態管理システム



□車両動態管理システムの運用

「セコム安否確認システム」と合わせ、災害発生時に車両と乗務員の位置情報を即座に管理者が把握できるよう「車両動態管理システム」を運用しています。

■現場巡回の実施

2020年6月から9月にかけて、現場巡回を実施しました。

巡回では、新型コロナウイルスに対する事業所の各種対策の実施状況の確認、地震や豪雨、台風等の災害に対する予防措置を確認しました。

総点検を実施することで、事業継続（BCP）するための予防対策の定着に取組みました。

■COVID-19（新型コロナウイルス）感染対策

2020年1月より世界各地で感染者が拡大している新型コロナウイルスに対し、当社としても、感染拡大の防止及び事業継続（BCP）の観点から、各種感染拡大防止対策を実施しています。

□対策会議の開催

関係部署と経営層を交えた対策会議を発足し、会社の新型コロナウイルス対策に対する方向性と指針及び各種施策を決定し、対応しています。

□予防活動の徹底

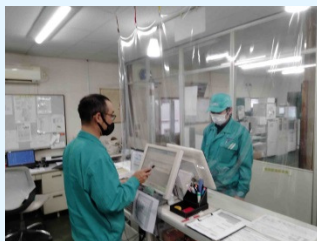
感染拡大防止のため、社員に対し、日頃の予防対応の要請を行い、全社をあげて予防対応に取り組んでいます。フォークリフト・トラックにタオルと消毒液を設置、全部署への衝立の設置、3密を避けるため距離を置いた休憩所、自作の足踏み消毒機の設置など、飛沫感染への予防措置を取りました。

WEB会議や本社業務の在宅勤務を、積極的に実施しました。

発熱モニターを設置



点呼室に衝立を設置



WEB会議の活用



足踏み消毒機の設置



トラック内の予防消毒



フォークリフトに消毒液を設置



(4) 社員との係わり

■ 人材育成

□ 職員の教育・研修制度

社員の能力向上のため、各種教育・研修を体系的に行っています。

新入社員研修



社内研修



□ 現業員物流改善研修

現場の第一線監督者（ブロック長）を主体として、現業員物流改善研修を実施しています。

現場の安全・品質・生産性向上に向け、核となって改善を継続的に推進できる人材の育成を目的としています。1ヵ月にわたり座学と現場実習を実施しました。

T P S（トヨタ生産方式）の考え方の習得や自部署での実践の進め方を学びます。

□ 取得資格

特定の資格取得・受講に対して、社員の申請に基づき一定の補助を行っています。

下記はその一例です。

内容
運行管理者・通関士・国内旅行業務取扱管理者・衛生管理者（第一種）・安全管理者・
防火管理者（甲種）・危険物取扱者（乙種第4類）・はい作業主任者・積卸し作業指揮者・
床上操作式クレーン運転・自動車整備士・物流経営士（物流大学校）・物流技術管理士

TOEIC 社内テスト



□ TOEIC 受験

社内で語学能力の向上とグローバルな人材育成のため、TOEIC の受験を推進しています。

会社の取組みとして、定期的にテストを社内で行っています。

今後も社員がスキルアップできるよう、支援していきます。

□各種制度

社員が仕事と生活を両立できる働きやすい職場作りに努めています。

「育児休業制度」や「介護休業制度」など、小さな子供や介護の必要な家族がいる社員を対象に、様々な制度を定め推進しています。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急宣言の際には、積極的に在宅勤務や時差出勤を活用して対応しました。

今後も多様な働き方を実現できるよう、制度の充実に取組んでいきます。

区分	制度	内容
育児	育児休業	最大子供が2歳まで休業できる
	所定外労働の免除・勤務時間の短縮	子供が小学校就学前まで短縮できる
	時間外労働・深夜業の制限	子供が小学校就学前まで制限できる
介護	介護休業	原則として通算93日まで休業できる
	勤務時間の短縮	3年間に2回まで短縮できる
両立支援	在宅勤務	自宅を就業場所として働くことができる
	時差出勤	通勤・退勤時刻を前後にずらすことができる
	各種休暇	介護・子供の看護休暇が取れる

□ホワイト物流推進運動への参加

2020年9月、国土交通省・経済産業省・農林水産省が進めるホワイト物流推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を提出しました。

この運動は、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化と、女性や60代以上の運転者等も働きやすいより「ホワイト」な労働環境の実現を目指した運動です。

社会的な共通課題の解決に向けて、関係取引先やパートナーとともに、物流の生産性と効率化を迫及し、多様な人材が活躍できるよりホワイトな労働環境の実現を目指して参ります。

ホワイト物流推進運動



□ 働きやすい職場認証制度への参加



2021 年 4 月、国土交通省・厚生労働省が進める働きやすい職場認証制度の一つ星認証を取得しました。

この制度は、自動車運送事業者（トラック・バス・タクシー事業）の運転者の労働条件や労働環境を第三者機関が評価・認証する制度です。職場環境改善に向けた各事業者の取組みを「見える化」することで、求職者のイメージ刷新を図り、求職者の運転者への就職を促進することを目的としています。

職場環境を整備し、社員にとって働きやすい職場を作ります。

□ 女性や高齢者が働きやすい職場

品質向上活動の一環で、刈谷物流センターの職場環境を女性や高齢者が働きやすいように改善しました。

倉庫内のレイアウトを変更して、重い荷物を持たないようにシューターを設置し、使いやすい台車を作成しました。社員への負担を減らし、生産性を向上することができました。

また、その他の営業所でも職場環境の改善を実施しています。豊橋営業所では、梱包作業の改善を行いました。

今後も全社で女性や高齢者だけではなく、全社員が働きやすい職場を目指していきます。

刈谷物流センター シューターの設置



豊橋営業所 梱包作業の改善



豊橋営業所 ラベル貼り作業の改善



■ 外国人技能実習生の受入

当社では、ベトナム人技能実習生を受入れています。

外国人技能実習制度とは、外国から来られた技能実習生が日本の職場で技能を修得するための制度です。

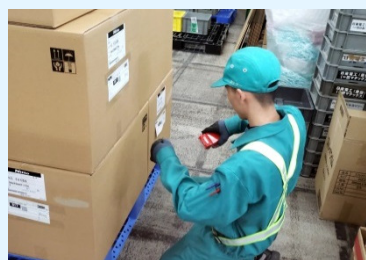
現在、約 30 名の技能実習生を愛知県と広島県と福岡県の営業所で受入れ、加工・梱包作業等を行っています。

2020 年はコロナ禍により、帰国が困難な中、雇用延長等に伴うフォローを強化しています。

広島海田物流センター加工作業



刈谷物流センター入出荷作業



サッカー観戦



■ 安城南高等学校の企業訪問

2020 年 10 月、高校 1 年生（1 クラス）による企業訪問を受入れました。

これは高校における総合学習の授業の一環で、地元の企業について学ぶために行われたものです。

企業訪問では、当社の会社概要について説明し、西尾東物流センター倉庫の職場環境を見学しました。

また、西尾営業所では当社の安全運転についての取組みを説明し、大型トラックの乗車体験を行い、トラックの特性についても体感して頂きました。

今後も CSR 活動の一環として、積極的な受入れを行いたいと考えています。

会社概要の説明



営業所の見学



大型トラック乗車体験



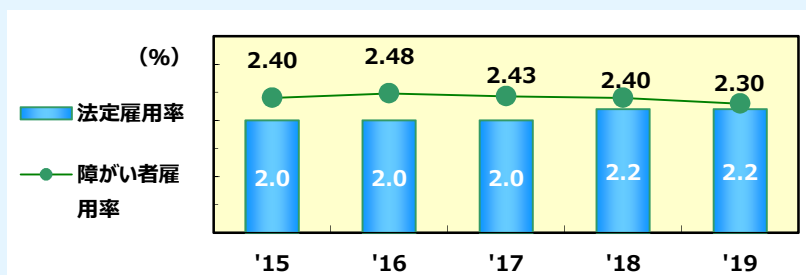
■ 障がい者雇用の推進

当社では、積極的に障がい者の採用活動を行い、雇用率の向上に取り組んでいます。

今後も引き続き、各特別支援学校への訪問、ハローワーク主催の面接会への参加等、障がい者の採用活動を積極的に展開していきます。

また、各職場の理解を深めるため、障がいについてまとめた冊子の配付などを行っています。

障がい者雇用率の推移（※1）



冊子の配付



■ 健康管理の充実

毎年全社員を対象とした定期健康診断を実施しています。診断結果に基づく 2 次検診受診のフォローを行い、健康起因による事故の防止と、社員の心と体の健康管理に努めています。

□ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査の実施（※2）

睡眠時無呼吸症候群の影響による事故防止対策として、簡易検査装置であるスクリーニング検査機器を自社購入し、定期的に全乗務員に検査を実施しています。

※1 データは 2019 年度現在。2020 年度は集計中

※2 睡眠中に無呼吸が断続的に繰り返される病気。その結果、日中に眠くなる、集中力や活力に欠けるなどの状態が生じる

(5) 業務改善提案の促進目標

①目標と結果

■業務改善提案の促進目標と結果

項目	2020 年度目標	2020 年度結果	2021 年度目標
業務改善提案件数	4,993 件	5,275 件	4,751 件

②目標達成に向けた取組み

職場環境の安全性や物流効率の向上、環境負荷低減等を目的とした業務改善提案を、全社員が提出できるようにシステムで管理しています。提出件数は四半期ごとに集計し、各部署への働きかけを行っています。

■提案グランプリ賞

提案者個人の提案評価点を累計した通算点数に応じ、提案グランプリ賞を授与しています。

項目	ダイヤモンド賞	金 賞	銀 賞	銅 賞	合 計
2020 年度受賞者数	3 名	15 名	36 名	45 名	99 名
受賞者数累計	30 名	97 名	216 名	518 名	861 名

■Q Cサークル活動の推進

活力ある職場作りに向けて、Q Cサークル活動の活性化を推進しています。

小集団で職場の問題解決に半年間取組み、業務の最適化・効率化を図りました。

2020 年 12 月 5 日に第 8 回 Q Cサークル大会が開催され、代表の 7 チームによる発表の結果、豊田西物流センターが優勝しました。

会場では、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、WEB 会議を活用して開催しました。

優勝 豊田西物流センター



QC サークル大会

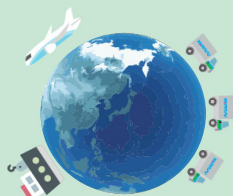


表彰	部署
優勝	豊田西物流センター
2 位	刈谷西物流センター
3 位	物流管理部物流改善室

国際物流サービスのご案内

陸路から空路、陸路から海路へ。

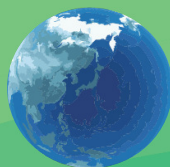
カリツー × 国際物流



カリツーの新しい物流サービスが始まります。
お客様と海外ご依頼先を直接結ぶ、ノンストップサポートです。

国内トップクラスのサービスを誇るカリツー。

新たな物流ソリューションで、
変化するビジネスを支えます！



日本から世界へ、世界から日本へ。
一貫した物流サービスをご提供いたします。

〈サービスイメージ〉



サービス
メリット

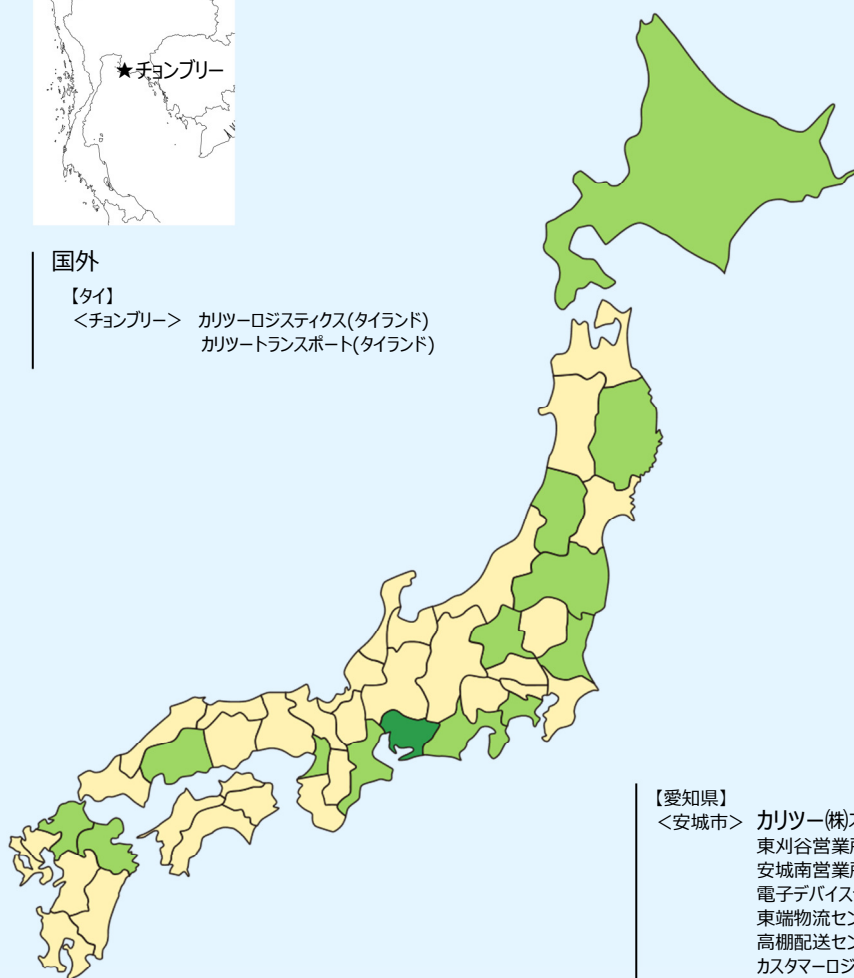
- 輸出入に必要な様々な作業・手配を一貫してお受けし、お客様の煩雑な業務を削減します。
 - 国内で培ったトラック輸送のノウハウと海上・航空輸送の最適な組み合わせで迅速にお荷物をお届けします。
 - さらに海外現地法人※・代理店と連携した国際物流サービスを提供します。
- ※海外現地法人は2018年に設立予定（詳細は次ページにて）

営業拠点一覧



国外

【タイ】
 <チョンブリー> カリツロジスティクス(タイランド)
 カリツトランスポート(タイランド)



国内

【北海道】 苫小牧営業所
 カリツ北海道 本社営業所

【岩手県】 カリツ東日本 岩手営業所

【山形県】 カリツ東日本 山形出張所

【福島県】 カリツ東日本 郡山本社

【茨城県】 茨城営業所

【群馬県】 群馬営業所

【神奈川県】 神奈川営業所

【静岡県】 静岡出張所

【三重県】 三重いなべ営業所

【大阪府】 大阪営業所

【広島県】 広島海田物流センター
 広島志和営業所
 広島西条営業所

【福岡県】 カリツ九州 北九州営業所
 カリツ九州 福岡営業所
 カリツ九州 宮田物流センター
 カリツ九州 苅田営業所

【大分県】 カリツ九州 大分中津営業所

【愛知県】

<安城市> カリツ(株)本社
 東刈谷営業所
 安城南営業所
 電子デバイスセンター
 東端物流センター
 高棚配送センター
 カスタマーロジセンター70

<刈谷市> 刈谷北営業所
 刈谷中央物流センター
 刈谷物流センター
 刈谷西物流センター
 小垣江物流センター
 ロジテム小垣江

<知多郡> 衣浦物流センター

<豊田市> 岡崎物流センター

<みよし市> 豊田西物流センター
 みよし物流センター

<岡崎市> 岡崎営業所
 岡崎東営業所
 ロジテム岡崎

<西尾市> 西尾東物流センター
 西尾営業所
 西尾北物流センター

<豊橋市> 豊橋営業所

<田原市> 田原物流センター



カリツ株式会社

お問合せ先：経営企画管理部 企画管理室

〒446-8540 愛知県安城市三河安城町一丁目 4 番地 4

TEL (0566) 73-5619 FAX (0566) 73-5627

URL : <http://www.karitsu.co.jp/>

2021 年 5 月発行